



認知症高齢者などへの見守りを!

健康福祉課 長寿介護係 ☎(25) 1186
地域包括支援センター ☎(25) 1182

認知症とは

認知症は誰でもかかりうる脳の病気です。発症する最大の原因は加齢です。認知症の一步手前の段階である軽度認知障害(MCI)の場合は、健全な状態に戻る可能性があります。認知症を発症した場合は、徐々に認知機能が低下していきます。しかし、早期発見・早期治療により進行を遅らせることが可能です。

認知症のかたへの接し方

認知症のかたに接するときには、自尊心を傷つけず、安心感を持てるよう笑顔で話し掛けましょう。また、たくさん情報を一度に伝えると混乱するので、相手の正面から簡潔にゆっくり話すようにしましょう。

徘徊について

認知症が進行すると、人によっては徘徊行動が見られる場合があります。この場合、本人は目的があつて歩いている場合が多いですが、途中で自宅が分からなくなり行方不明になることがあります。

明になることがあります。行方不明になると、高齢者自身が危険にさらされるほか、家族などへの心身の負担は大きなものになります。そこで、市では位置情報検索システム(GPS) 購入助成と見守りシールの交付をおこなっています。

見守りの目を増やす(協力者・店募集中)

市では高齢者の見守り(見守りネットワーク)へのご協力をいただいている事業所が現在62店舗あり、高齢者のかたを見守っていたり、高齢者のかたが行方不明になった時には一緒に捜索をしていたりしていただいています。いづれも、無理のない範囲で参加をお願いしています。ご協力いただけるかたは、地域包括支援センターまで連絡をお願いします。



店や自宅の玄関に貼っていただくステッカー



位置情報検索システム(GPS) 助成金

GPS 機器および附属品の購入費や、新規契約に必要な加入料および登録手数料を助成します。

対象者

- 65 歳以上で、認知症による徘徊が認められるかた
- 40 歳以上 65 歳未満で介護認定を持つかたのうち、認知症による徘徊が認められるかた
- そのほか市長が認めるかた

助成額

上限 2 万円 (対象者 1 人につき 1 回まで)

※月々の使用料や検索費用などは利用者負担です

申請先

- 健康福祉課長寿介護係
- 市民課
- 各連絡所



見守りシール交付

QR コード付き見守りシールを無料で配布します。QR コードを読み取ると、行方不明者捜索専用のインターネット掲示板に接続でき、行方不明者の早期発見につながります。

対象者

- おおむね 65 歳以上のかた
- 40 歳以上 65 歳未満で介護認定をされたかたのうち、認知症による徘徊が認められるかた
- そのほか市長が認めるかた

申請先

- 健康福祉課 地域包括支援センター
- 市民課
- 各連絡所



見守りシール QR コードを読み取ります